

令和4年6月12日
執行

愛川町長選挙 選挙公報

愛川町選挙管理委員会

先頭に立って働きます

- 町民の生命財産を守る危機管理能力の向上:危機管理室の充実・脱コロナ禍への移行を視野に入れます・自身のもつ専門知識を公衆衛生分野で発揮します
- 小中学生が楽しく学べる環境作り:苦手克服動画の配信・中学生の帰宅手段に町内循環バスの利用を諮問・定期的なヤギによる動物介在教育を小学生を中心に実施
- 清潔で快適な生活環境整備:落書きゼロ・集積箱を町で管理・生活道路の安全確保
- 信頼される役場組織:相談しやすい窓口・施策結果公表・ご提案は全て町長が確認
- 差別を許さず、弱いものの味方になる町政:愛川町役場に対しハラスメントを断固許さないことを町長が宣言します・これにより町内各職場への波及を推進します
- 無駄を無くし将来につながる財政:子育て世代への支援・小学生、中学生が住んでいることを、そして高校生が通学していることを誇れる町作り・特に半原水源地跡地には世界トップレベルのスケートパークの建設を検討します

いまほこ君雄のプロフィール

- ◆1959年10月25日、田代に生まれる。62歳。現在までそのほとんどを田代で過ごす。
- ◆田代小学校、愛川中学校、県立厚木高校、東京造形大学造形学部映像専攻、東京農工大学農学部獣医学科を各卒業。
- ◆獣医師免許取得後、現在は猫の避妊去勢手術を主とする診療所で獣医師として働く。
- ◆塾講師、食品販売員、カー用品販売員などを経験◆大型自動車免許、フォーク免許取得



無所属

いまほこ

君雄 きみお

子どもから高齢者まで 誰一人取り残さないまちを目指して!!

小野沢ゆたかの 未来づくりプロジェクト

これから未来をつくる
子どもや若者たちのために
夢と希望を

これまで築き上げてこられた
高齢者へ
感謝と思いやりを



- ◆プロジェクト1 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ◆プロジェクト2 安心して子育てと教育ができるまちづくり
- ◆プロジェクト3 魅力と活力あるまちづくり
- ◆プロジェクト4 安全で快適に暮らせるまちづくり
- ◆プロジェクト5 次代を見据えた持続可能なまちづくり

政策は、継続的な積み重ねによって実現可能となります。町民の皆さんの声に丁寧に耳を傾けながら、日々の生活の豊かさが実感できるよう引き続き全力で取り組んでまいります。



無所属

小野沢ゆたか

プロフィール：昭和28年3月17日愛川町三増生まれ半原在住 県立相模原高校卒業 関東学院大学工学部卒業
職歴：平成22年4月 愛川町総務部長 平成23年4月 愛川町副町長就任 平成26年3月 愛川町副町長退任
平成26年6月 愛川町長（一期目）平成30年6月 愛川町長（二期目）現職

これまでの実績と確かな信頼を礎に、より高く、より前に、持続可能で魅力あるまちへ全力でチャレンジ!

ふるさとの未来を築く大切な選挙です。
あなたの声を貴重な一票に託してください。

令和4年6月12日
執行

愛川町長選挙

選挙公報

愛川町選挙管理委員会

GO GREEN 100% 愛川町で使う電気は
AIKAWA 自然エネルギーで賄う



成長戦略

「豊かな自然」「クリーンエネルギー」を次世代へ

アフターコロナを見据え、環境負荷の少ない水力発電や風力発電、木質バイオマス発電を愛川町の新しい地場産業として根付かせ、エネルギーを地産地消。半原水源地の跡地は史跡としても生かしながら用途転換を図ります。

教育戦略

新しい中高一貫校、保育所を設置

中学校・保育園の集約・拡大により、有給休暇を取得しやすく働きがいを持つ職場環境を整備。障害を持つ方や外国人を含め、子供たちが一堂に会して学ぶことで、多様性を認め合う文化を根付かせていきます。

交通戦略

自動車なくても暮らしやすい町作り

日常生活用の小型バスや通学・通勤用の中型バス、近隣都市直行型バスや町内限定障害者・高齢者向けタクシーサービスなど、高齢者や学生、社会人のための交通網を構築し、自動車を持たなくても暮らしやすい町作りを目指します。

こじま あつし

小島 淳 プロフィール

昭和55年(1980)10月 愛川町半原生まれ(41歳)

神奈川県立厚木高校卒、中央大学文学部東洋史学専攻卒、就職後、愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科卒
2021年、保育士試験に合格、保育士の資格を取得、3児の父



こじま
小島あつし

無所属

41歳

愛川町長選挙

投票日

6月12日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで